

**総合的な学習の時間
(福祉体験)**

川崎市立柞形中学校

単元(題材) 目標

- ・福祉に関する基礎学習を行い、福祉やボランティアにおける意識を高める。
- ・福祉に関する様々な課題に関心を持ち、自分にできることを意欲的に実践しようとする態度を養う。
- ・聴覚障害者への理解を深め、相手を思いやる気持ち(他者理解)や今後の自らの生き方(共に生きる)に生かす。

(1) 実施時期

7月7日 5・6校時(13:10~15:00)

(2) 対象(学年等・人数)

2学年 155名

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

外部講師:手話サークル山びこ(8名:各クラス2名)

(4) 実施内容

- ・耳の不自由な方の生活を学び、コミュニケーションの手段のひとつである手話について体験的学習をする。
- ・手話サークル山びこの方々のお話(日常生活で困ることや工夫・サポートのあり方など)
- ・手話講習(生徒20名程の少人数にて実施)(自己紹介や挨拶・日常よく使われる手話など)
- ・手話を使ってのコミュニケーション(講師の先生や生徒同士の手話実践)

(5) 成果

- ・手話の動きに意味づけ(何をイメージして)があることを理解した。
- ・日頃色々な工夫をして生活をしていることや、私たちが日常的に気にかけてあげられることなど考えられた。

(6) その他

- ・総合的な学習において、各学年の福祉教育を今後も充実推進していきたい。
(ボランティア活動・高齢者介助体験・保育ふれあい体験など)